

市民活動情報

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

特集

道内の市民活動支援センターを紹介します。 「函館市地域交流まちづくりセンター」

今年度は北海道内にある市民活動の支援施設を順次紹介いたします。今回は函館地域で支援している「函館市地域交流まちづくりセンター」について、センター長の丸藤 競さんからご紹介いただきます。

「居心地の良い場所と言われたい」

函館市地域交流まちづくりセンター（通称：まちセン）は、今年でオープン4年目を迎えました。市民交流の場づくりや、市民活動の支援、観光案内をはじめ地域情報の発信、移住者サポートセンターや体験学習「まなびとと広場」事務局等の活動を通じ、函館地域のコミュニケーションやまちづくり活動の支援をしています。

大正12年に丸井今井呉服店函館支店として建てられた建物を再利用しており、そのノスタルジックな三階建て（一部五階建て）の姿は、函館の代表的な観光地西部地区のランドマークとして多くの来館者や観光客の心を惹きつけています。また、蛇腹のドアが特徴的な東北以北最古の手動式エレベーターも設置されていて、人気です。

私達スタッフは「まちセン」を、次の五つの想いを持って運営しています。

【その1】「自分の部屋の次に、居心地の良い場所」と言われたい。



函館市地域交流まちづくりセンター 外観

皆さんから“私たちの施設”と感じてもらえるような、居心地の良い場所にしたいと思います。用事がある時はもちろん、ない時こそ行きたくくなるような“居場所”になることが、私たちの夢です。多くの立場の違う人々が自由に集い、主体的に交流しあえる

居場所。自分が役に立つことを知り、自ら動きだせる居場所。助け合いやふれあいがたくさんある居場所。いつも何かがある居場所。それが、「まちセン」が目指している居心地の良い居場所の姿です。

【その2】「ノー」や「分かりません」と言わない。

いきなり「ノー」や「分かりません」と言わないようにします。利用者の皆さんの希望を丁寧にお聞きし、できるだけ希望に沿ったかたちで使っていたるように、親身になって考えていきます。効果的で使いやすいやりかたを、一緒に考えていきます。

また、いただいた相談や質問には、最も適切な答えを素早く出せるようにしています。「分かりません」と門前払いはしません。必死で答えを探します。

【その3】皆さんの願いを叶えたい。

「多くの願いを叶えられる場」にします。願いや夢を持った人が多く集まる場として、様々な立場の人や市民のつながりをつくっていきます。皆さんの願いを叶えるためのお手伝いをしていきます。



東北以北最古の手動式エレベーター

「函館市地域交流まちづくりセンター」

【その4】常に進化していきます。

進化のためには、「現場を見て、現場で考える」ことが一番必要だという思いのもと、常に、「もっと良いやりかたがあるはずだ」と考えます。そのために、「聞くこと」「学ぶこと」「調べること」「考えること」「実践すること」を実行していきます。

【その5】いつも「人がいる」場所にしたい。

「人がいる」を考えた運営をしていきます。「こんにちは！」などの挨拶。心のこもった声かけ、親切な対応、を常に心がけていきます。センターを創り上げる主役は利用者の皆さんです。私たちは、皆さんとの交流を深めながら、まちづくりの支援をしていきます。

実際、この五つの想いを実践していくのは大変です。「分かりません」と言わないと言うものの、「函館で羅卒本営がおかれていた場所は？」「日本で最初にカレーライスにジャガイモを入れた人は？」「中近東の上水道の現状は？」などという質問まで来てしまい、調べるのに時間がかかったりすることもあります。しかし、様々な質問に答えていくうちに、市内でも頼られる存在の一つになりました。

観光案内所としての機能や知識、おもてなし度もずいぶん向上しました。パンフレット類も豊富なので、ホテルのかたやマスコミのかたも情報収集によく訪れます。

もちろん、一番の柱である支援センターとしての役割も大切にしています。好評の特大行事カレンダー。印刷室に掲示している「チラシの創り方」「イベントのタイトルの付け方」「マスコミの連絡先一覧」などの掲示。計4部屋ある会議室・研修室には、「組織を育てるポイント」や「良い会議をするため」のアドバイスを掲示しています。助成金情報の横には、申請書類を書くためのアドバイスも用意しています。オープン早々に無線ランの設備も整えました。



活動の様子

居心地を良くするために館内どこでも飲食自由ですし、ホールやロビー内などにはソファをたくさん置き、自由に休んでもらっています。Drip Drop という喫茶もあり、珈琲だけでも5～6種（全て自家焙煎！）その他にも紅茶などの飲み物やオーガニック系軽食など30～40種のメニューを取りそろえています。近所の常連さんや、集まりの前後などに利用していただいております。

今年の2月からは、障がい者の社会参加支援の一環として、福祉の店「どんぐり・2号店」もオープンしました。名物のかりんとうや、カンパン、手作りの和人形風菜など、人気商品がいっぱいです。

フリースペースという120名規模のホールは、世界の民俗音楽や舞踊のワークショップ、作品展、講演会、勉強会、パーティー、映画のロケなど様々な形で使われています。

スタッフは現在11名。朝9時から夜9時までの開館で、基本的に年末年始以外休館日はありません。利用者は年、13～14万人。観光シーズンなどは、朝から晩までひたすら観光案内をしている時もありますが、道南唯一の本格的な中間支援センターとして、地域の市民活動が活性化していくよう日々向上に励んでいます。

私たちは、まちづくりは「宝探し」だと考えています。まちや地域の中にある宝、人の中にある宝、歴史の中で育まれた宝、日々の暮らしの中からつくられていく宝、想いの中から生み出されていく宝、そして自分の中にある宝。「まちセン」は、そういった様々な宝を探しだしていこうとする皆さんのたまり場です。スタッフは、宝探しをする皆さんの支援をしていきます。

ある時は情報収集や交換の場として、あるときは交流の場として、あるときはアドバイスを聞くために、そしてある時は疲れを癒したり鋭気を養ったりする場として。たくさんの宝さがしをしている皆さん。お気軽にお越しください。心よりお待ちしております。

名 称：函館市地域交流まちづくりセンター
住 所：〒040-0053 函館市末広町4-19
電話番号：0138-22-9700
オープン：平成19年4月1日
開館時間：9:00～21:00
休 館 日：年末年始（12月31日～1月3日）
（機材点検等のため臨時休館の場合あり）

センターインフォメーション

助成金募集等のご案内

JT 青少年育成に関するNPO助成事業 (2011年度助成)

地域コミュニティの再生と活性化を推進し、より良い社会を築いていくためには、人材育成、とりわけ次世代の社会を担う「青少年の育成」が重要と考えています。NPO助成にあたっては、青少年を対象とし、その健全な育成のために、地域と一体となって取り組む事業を支援します。

なお、活動分野は特に問いませんが、環境美化や環境保全に関する活動を推奨します。

応募資格

- ・非営利法人であること
- ・2010年9月30日時点で、法人として1年以上の活動実績を有すること。
- ・法人の設立目的や活動内容が、政治、宗教、思想などに偏っていないこと。

助成対象事業

非営利法人が日本国内において、地域社会の核となって実施する青少年の健全な育成につながる事業

補助対象経費：事業費及び人件費

助成限度額および助成件数

1件当たり年間最高150万円まで、40件程度

応募期限：2010年11月20日(土)

応募先：日本たばこ産業株式会社
CSR推進部 社会貢献室
TEL：03-5572-4290

詳しくは、次のホームページをご参照下さい。

<http://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npoindex.html>

2011年度セブン-イレブン みどりの基金公募助成

市民(=お客様)が募金を通して、地域の環境活動を支援する、市民参加の社会貢献の仕組みです。

公募助成の種類

【環境市民活動助成】

- ・活動助成(年間助成総額：総額1億円)
- ・自立事業助成(1団体あたり上限440万円)
- ・広域連携促進助成(1プロジェクトあたり上限200万円)

【地域美化活動助成】

- ・緑化植花活動助成(1団体あたり上限100万円)
- ・地域清掃活動助成(1団体あたり上限20万円)

助成期間：2011年3月1日～2012年2月末日

応募期限：2010年11月30日(火)

応募先：一般財団法人セブン-イレブン記念財団
TEL：03-6238-3872

詳しくは、次のホームページをご参照下さい。

<http://www.7midori.org>

平成23年度

愛・地球博成果継承発展助成事業

応募部門

- (1) 愛・地球博記念事業を発展促進させる事業部門
- (2) 国際交流を促進させる事業部門
- (3) 「自然の叡智」を深化させる事業部門

助成対象事業の要件

いずれかの部門の事業に該当し、愛・地球博の基本理念を全国的な規模又は国際的な規模により継承発展させるために相応しい社会に貢献する非営利の活動で要件を満たす事業であること。

助成金の総額及び助成限度額

平成23年度の助成金の総額は、1億円を限度とします。一案件の助成金の限度額は、5,000,000円から20,000,000円までの範囲内の金額で個別に決定されます。

応募期限：2010年10月29日(金)

応募先：財団法人地球産業文化研究所
愛・地球博理念継承発展業務部
TEL：03-3663-2500

詳しくは、次のホームページをご参照下さい。

http://www.gispri.or.jp/expo/grant_23.html

全国一斉一日ボランティアデー

「第2回 Make a CHANGE Day」参加者募集中

- ・開催日：2010年10月23日(土)
- ・事前に参加登録の申請が必要です。

主催：Make a CHANGE Day 実行委員会
TEL：052-486-2055

詳しくは、次のホームページをご参照下さい。

<http://makeachangeday.com>

トヨタ財団2010年度

「地域社会プログラム」

本プログラムは、日本国内の地域社会の再生・振興に向けて、地域が直面する課題の解決をめざす、実践的な活動を支援することを目的としています。本年度は、公募テーマ「地域に根ざした仕組みづくり - 自立と共生の新たな地域社会をめざして」の下で、地域に生きる人びとが主体となる意欲的なプロジェクトを広く募ります。

助成額：1件あたり年間300万程度まで

助成期間：2011年4月1日から1年間または2年間

応募期限：2010年11月8日(月)

応募先：公益財団法人トヨタ財団 地域社会プログラム
TEL：03-3344-1701

詳しくは、次のホームページをご参照下さい。

<http://www.toyotafound.or.jp/>

センターインフォメーション

当センターで開催する講座等の参加者募集の情報です

公募企画講座

～ これからの札幌圏の
公共交通について考えよう！ ～

この講座では、人を動かすことや情報を引き出すための「いい質問」について学び、「提案する力」や「コミュニケーションをはかる力」、「会議等でまとめる力」の向上を目的に開催します。

日時：平成22年11月20日(土) 13:00～15:30

場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

内容：講演「札幌の公共交通ってどう!?」

～これまでとこれから～

講師 今井理雄さん

(駒沢大学応用地理研究所専門研究員)

ディスカッション

コーディネーター：今井理雄さん

サブコーディネーター：松本公洋さん

参加料：500円

定員：25名(先着順)

対象者：NPO関係者、公共交通を取り巻く環境に関心のある市民

共催企画団体：

NPO法人交通まちづくりコンソーシアムゆうらん

市民活動ミニフェア

～ キノコを知って楽しもう ～

10月4日(月)～6日(水)の3日間、安心安全にキノコをおいしく食べていただくため、食の安全と菌類の普及啓発を目的に、キノコの名前や見分け方をわかりやすく解説するキノコ写真展とキノコ鑑定、また最終日の午前中には自然界で菌類が果たす役割等について講演会&ディスカッションを実施します。

入場無料です、お誘い合わせの上是非お越し下さい。

日時：平成22年10月4日(月) 13:00～17:00

平成22年10月5日(火) 10:00～16:00

平成22年10月6日(水) 10:00～16:00

場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

内容：

・キノコ写真展(4日(月)～6日(水))

・キノコ鑑定団(4日(月)～6日(水))

ご持参いただいたキノコを鑑定いたします。

・講演会&ディスカッション

(6日(水)の午前中のみ)

入場料：無料(申込みは不要です)

NPO法人設立基礎講座

～ 市民活動の基礎からNPO法人設立までを一緒に学びませんか？ ～

日時：平成22年10月24日(日) 13:00～16:00

場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

内容：講義1：「NPO法人設立前に知っておきたいNPOの基礎知識」

講師 東田秀美さん

(NPO法人旧小熊邸倶楽部理事長)

講義2：「NPO法人を設立するための要件や申請手続きのポイント」

講師：二瓶志乃さん

(北海道環境生活部くらし安全局

道民活動文化振興課)

参加料：300円

定員：20名(先着順)

対象者：市民活動団体や関心のある方
NPO法人設立を考えている方

この講座は、今年度の11月、2月、3月にも同様の内容で開催を予定しております。詳しくは、当センターのホームページをご参照下さい。

当センターでは、市民活動に関する疑問・質問に相談員がお答えしています。

「NPOって何ですか?」、「ボランティア募集の情報を知りたい」、「助成金に関する情報を得るにはどうしたらいいの?」、「市民活動団体の運営についてアドバイスを受けたい」、「現在の活動団体をNPO法人化したい」など市民活動に関わる相談にお応えします。

来館または電話、FAX、メールなどで、お気軽にご相談下さい。

・TEL：011-261-4440

・FAX：011-251-6789

・E-mail：center@do-shiminkatsudo.jp

・URL：http://www.do-shiminkatsudo.jp

掲載情報の詳細等につきましては、当センターのホームページまたは各団体のホームページ(助成金情報)をご参照下さい。

また、今回掲載以外の助成金情報なども随時更新中です。ぜひアクセスして下さい。

北海道立市民活動促進センターのホームページ
http://www.do-shiminkatsudo.jp/